

2016 年版  
パンフレットが  
できました!

# 何でも情報コーナー

## しまね県民の森ふれあい講座

【春～夏のスケジュール】

**4月** 登山1 **4月23日(土) 8:30~15:00** 1,000円  
**早春の県民の森～琴引山縦走**  
 【集合】 琴引フォレストパークスキー場 8:30  
 バスで和恵展望台へ→琴引山→スキー場

**5月** 登山2 **5月7日(土) 8:30~15:00** 1,000円  
**新緑のブナ林とイワカガミ満開！  
～県民の森指谷山縦走～**  
 【集合】 県民の森木工室 8:30 ※アップダウン多い  
 バスで草峠へ→指谷山→もりのす

登山3 **5月15日(日) 8:30~15:00** 1,000円  
**大万木山サンカヨウ観察と  
草峠縦走**  
 【集合】 道の駅頓原 8:30  
 バスで門坂Pへ→サンカヨウ自生地→大万木山頂  
 →草峠

自然体験1 **5月22日(日) 10:00~15:00** 500円  
**春の自然の恵みで  
おいしい憩いの1日を過ごす**  
 【集合】 県民の森木工室 10:00

- ・竹で野外クッキング
- ・春の散策と野草茶(雨天:竹細工)

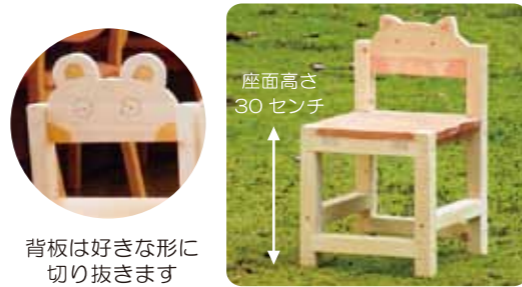


▲竹筒で作る筍ごはんとかまぼこ

登山4 **5月28日(土) 8:30~14:30** 1,000円  
**眺望爽快！若葉の等検境縦走**  
 【集合】 雲南市吉田総合センター 8:30  
 バスで毛無山Pへ→大万木山地蔵尊→等検境  
 →オコナデP



**7月** 木工1 **7月24日(日) 10:00~15:00** 1,000円  
**木の温もりあふれる  
「こどもイス」を作ろう!**  
 【集合】 県民の森木工室 10:00



**8月** 木工2 **8月21日(日) 10:00~15:00** 500円  
**夏の工作  
木の実で作る動物の掲示板**  
 【集合】 県民の森木工室 10:00



ふれあい講座申し込み先  
 島根県立ふるさと森林公園学習展示館  
**TEL 0852-66-3586**  
 ※各開催日の3ヶ月前より受付します。

### 編集者のつぶやき

今号はシカ特集でしたが、表紙はセンサーカメラの画像で、少し粗くなってしまったそうです。私はシカを見たことがなく、普段どんな風に過ごしているのかイメージもなく、森(?)の中でこんな感じにいるんだなあと思えてきました。今年の1月にも、隣席のSさんが事務所へ

戻る途中にシカが現れて、画像をみせてもらいましたが、こちらも臨場感が溢れています…。やっぱり近くにいるのだなあと思ってしまいました。(M.K)



### 次号 特集予告

【農林大学校】 来たれ! 林業課へ 森林のエキスパートをめざせ  
 【地域研究スタッフ】 地域内経済循環で所得と生業(なりわい)を創出する

中山間プレス  
Webサイト



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press

2016  
Spring  
Vol.20

編集・発行  
 島根県中山間地域研究センター  
 〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207  
 TEL 0854-76-2025 FAX 0854-76-3758

WEBで検索 島根県中山間地域研究センター 検索



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press

研究の森から中山間地域を応援します

2016  
Spring  
Vol.20



【特集】

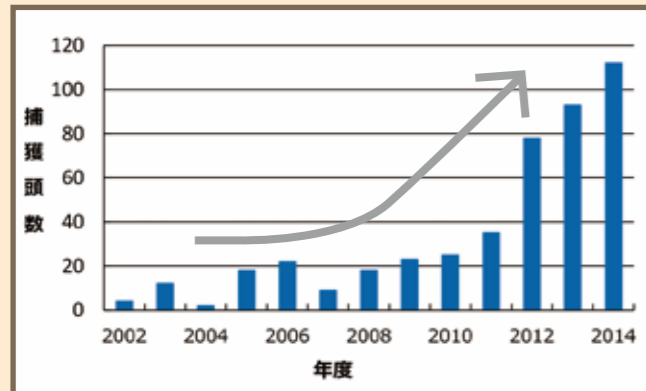
島根県の中国山地側での  
ニホンジカの増加を防ぐ  
鳥獣対策科

# 島根県の中国山地側でのニホンジカの増加を阻止する【鳥獣対策科】

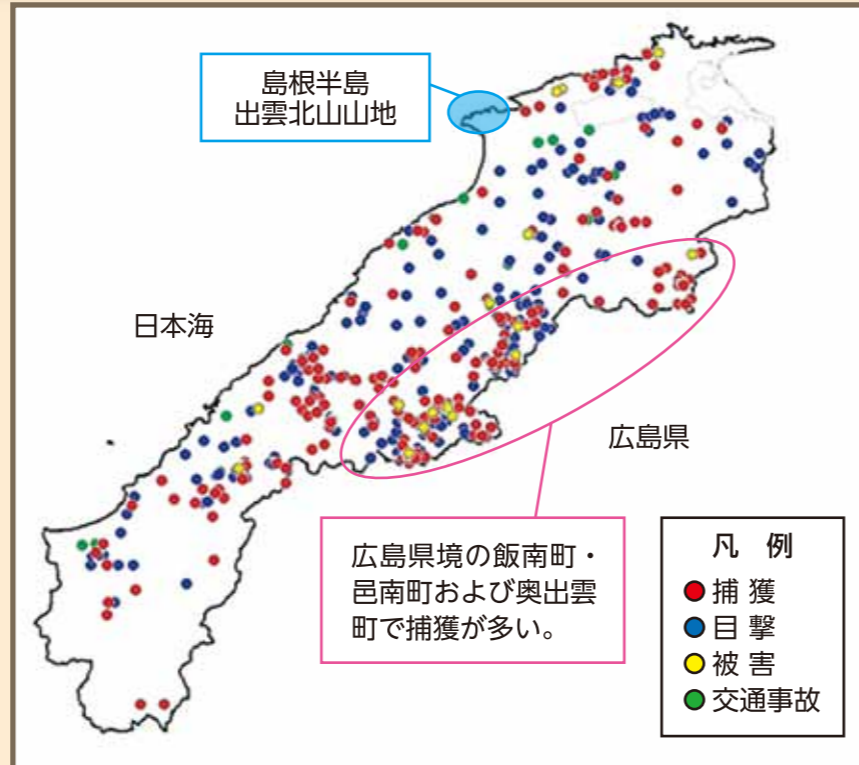
近年、増えすぎたシカによる問題が全国各地で起こっています。環境省の推定では、全国（北海道を除く）に305万頭が生息していますが、これまでと同じ捕獲数では10年後には453万頭にまで増加すると予測されました。シカの生息密度が高まると、農林業への被害発生と共に、森林生態系へも著しい悪影響を及ぼし、最終的に森林は衰退していきます。このような被害を防ぐために、島根県では、早期に調査・対策を行い、県内でのシカの増加を防ぐ取り組みを行っています。

## 1 中国山地側のシカの状況は？

島根県では、近年、中国山地側でシカが増えており、260～11,200頭（別に島根半島に2,000頭）が生息すると推定しています。捕獲頭数も年々増えており、2014年度には112頭が捕獲されています。また、捕獲場所は安来市から津和野町までとほぼ全域に渡っています。



島根県の中国山地側でのシカの捕獲状況



2003年以降のシカの生息情報（島根半島出雲北山山地を除く。また、隠岐諸島には生息していません）

## 2 島根県のシカはどこから来たの？

捕獲されたシカのミトコンドリア遺伝子を解析した結果、広島県に生息するシカと同じ遺伝子型を持っている個体が多いことから、おもに広島県（52,000頭が生息）からの分布域拡大によって、本県に侵入していると考えられます。

## 3 シカが増えたとなにが問題なの？

シカの生息密度が高くなると、樹木への食害などの被害が増え、30-50頭/km<sup>2</sup>以上の高密度になると、林木や下層植生の食害によって、土壌が流出し、森林が衰退する恐れがあります。



## 4 どんな調査をするの？

当センターでは、2015年度から「中国山地でのニホンジカの捕獲実証モデルの構築」を始めました。まず、シカの目撃、捕獲などの生息情報を島根県統合型GIS「マップonしまね」を使って集積して、地図データとして公開しています。また、この地図データから重点捕獲地域を明らかにします。そして、最新のICT（通信情報技術）システムを用いた捕獲装置やシャープシューティング（誘引狙撃法）による捕獲を地元猟友会や町などと一緒に実践して、現地の捕獲者への技術移転を図っていきます。当センターでは、随時、シカの目撃や捕獲の情報を募集しています。情報をお持ちの方は、当センター、または最寄りの農林振興センターまでご連絡をお願いします。



島根県の中国山地側で撮影されたシカ



シカ捕獲用のICT技術を用いた囲い罠

## 5 将来の展望は？

今後も人とシカが共存していくには、生息数が増えすぎないように適度な捕獲による管理が重要です。そのためには、若者や女性にも狩猟の魅力などを発信して、新たな捕獲者の確保が不可欠です。また、捕獲されたシカは、ジビエなどに利用していくことも必要です。



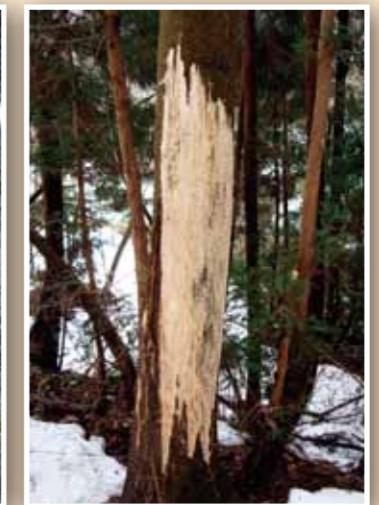
ジビエ料理講習会の様子



ジビエ料理講習会で提供されたシカ料理



女性ハンターの活躍（写：イノシシ）



シカによるネムノキの樹皮摂食被害

鳥獣対策科のHPでは、各獣種の被害対策パンフレットを公開しています。QRコードもしくは下記のURLからアクセスできます。

URL: <http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>

お問い合わせ：中山間地域研究センター 鳥獣対策科 **0854-76-3818**

